



2022年3月期 決算説明会

2022年6月3日

株式会社丸順

東証スタンダード・名証メイン コード：3422



【本日の報告事項】

1、会社概要、トピックス

2、2022年3月期決算及び
2023年3月期業績予想

3、成長へ向けた取り組みについて

4、サステナビリティの取り組みについて

【本日の報告事項】

1、会社概要、トピックス

2、2022年3月期決算及び
2023年3月期業績予想

3、成長へ向けた取り組みについて

4、サステナビリティの取り組みについて

研究開発

加工・量産の難易度が高い材料の生産技術など次世代で求められる自動車部品の研究開発を推進。

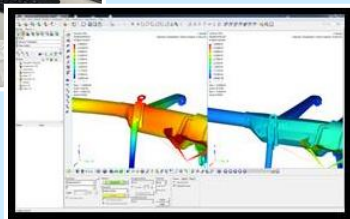
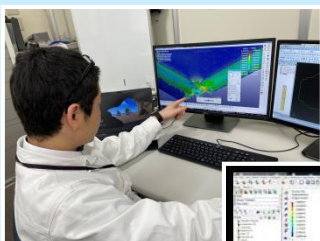
独自技術

CAE
解析技術



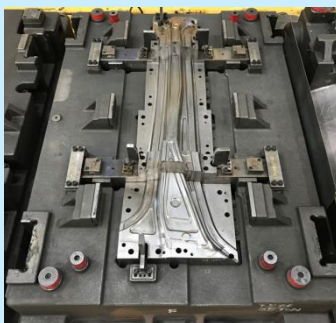
技術深化

創業以来の
ノウハウ



エンジニアリング

「世界最速金型製造」を目指し、全ての生産設備に最も適合する金型・治具・検具を製作⇒金型は得意先でのプレスにて良品を保証。(機械加工だけではなくメンテナンスまで対応)



金型



検具



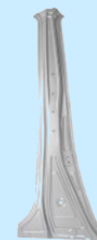
治具

部品生産

＜ボディ部品事業＞
自動車の軽量化、安全性の向上に寄与するスーパーハイテンの車体骨格を始めとした部品の量産事業



フロントピラインナー



センターピラーアウター

＜精密・電動化部品事業＞ HV
・EV向けのバッテリーケースやトランスミッション部品の量産事業



バッテリーケース



バインドバー

開発、金型製造から部品量産まで行う、一貫生産体制を整備

1-2.当社の拠点(セグメント)

国内：6拠点（駐在事務所含） 子会社：3社 出資会社：1社

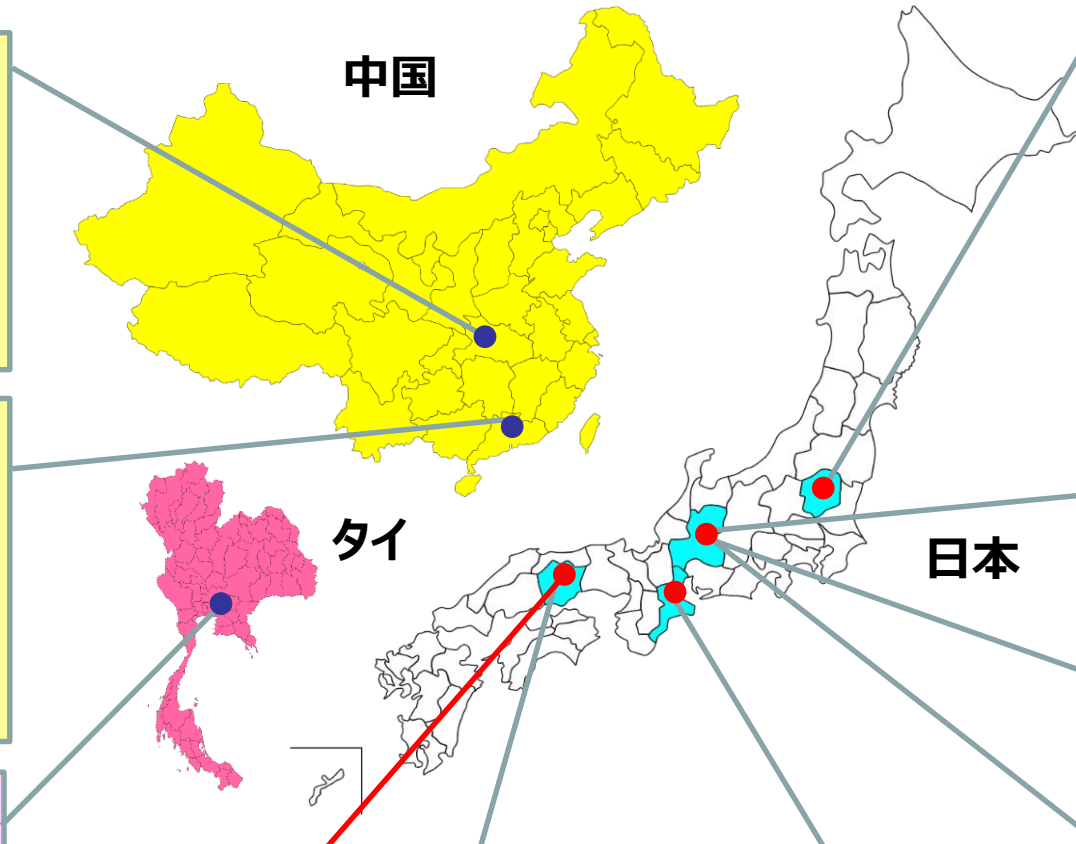
武漢丸順汽车配件有限公司(子会社)
※2003年10月設立



広州丸順汽车配件有限公司(子会社)
※2001年11月設立



タイ・マルジュン社(子会社)
※1994年7月設立



栃木開発センター
営業・開発部門



本社・上石津工場

自動車部品、金型及び治具・
検具の製造、営業・開発部門



養老工場

精密プレス部品製造
電動化部品製造・開発部門



新設 岡山工場（仮称）
自動車部品製造



【新工場 完成予想図】

2024年
5月生産
開始予定

岡山駐在事務所
新規仕入先の開拓
新機種の上り対応



鈴鹿工場
自動車部品製造

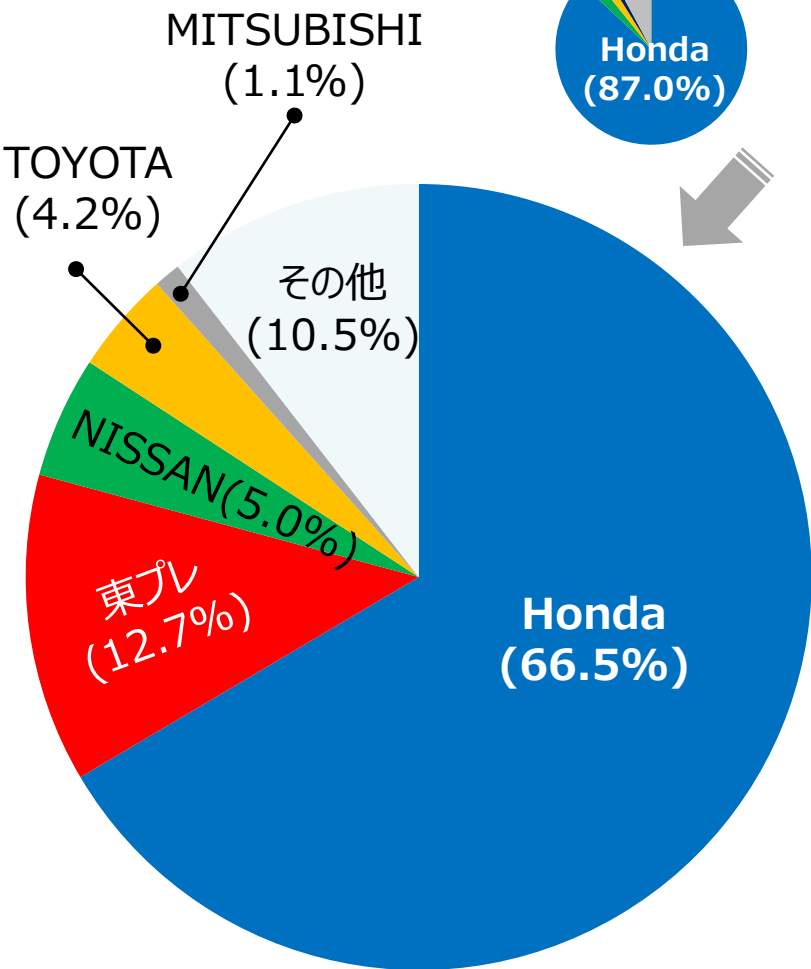
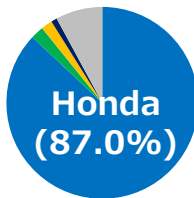


浅西工場
自動車部品製造



■ 2021年度 実績

◇ 2014年度 実績



丸順	本田技研工業 / 東プレ / ゲスタンプ プライムプラネットエナジー & ソリューションズ アイシン精機 / トヨタ車体 / フタバ産業 / 武蔵精密 / 日産車体	<p>Honda系 53% 東プレ 30%</p>
タイ	Honda Automobile (Thailand) Thai Honda Manufacturing Suzuki Motor (Thailand) MUSASHI AUTOPARTS (Thailand) DAICEL SAFETY SYSTEMS(Thailand)	<p>Honda系 59% 東プレ 27%</p>
広州	広汽本田汽車 / 東風本田汽車 广汽三菱汽車 / 广汽丰田汽車 广汽菲亚特克莱斯勒汽車 (FCA) 伟巴斯特车顶系统 (Webasto)	<p>Honda系 74%</p>
武漢	東風本田汽車 / 鄭州日産汽車 法雷奥集团 (Valeo) 广州小鹏汽车	<p>Honda系 76%</p>

Hondaを中心としながらも、東プレをはじめ、様々な自動車メーカー、部品メーカーと取引を実施

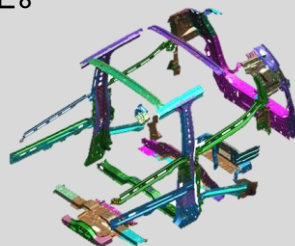
新型 軽EV サクラ 量産開始

日産自動車の新型 軽EVの部品量産を2022年3月より開始。

デイズ、ルークスに続き、多くの骨格部品及び電動化に関連する部品を受注。



日産自動車 新型 軽EV サクラ



当社受注部品群

半導体供給不足 原材料価格高騰影響

◆半導体供給不足

半導体供給不足に伴う、主要客先の生産変動により生産台数が減少。

◆原材料価格高騰影響

原材料価格高騰分の売価転嫁により売上は増加するものの、材料費増加分を吸収できず、製造原価率が悪化。

優良感謝賞受賞

①日本丸順 優良感謝賞受賞

日本丸順は、主要取引先である本田技研工業株式会社より、「優良感謝賞(品質部門)」を受賞。



②武漢丸順社 優秀サプライヤー賞受賞

武漢丸順社が主要取引先の東風本田汽車有限公司より、優秀サプライヤー賞を受賞。



いずれも、半導体供給不足等により依然として生産変動が続く中、安定した品質による生産活動への貢献が評価されたもの。

【本日の報告事項】

1、会社概要、トピックス

2、2022年3月期決算及び
2023年3月期業績予想

3、成長へ向けた取り組みについて

4、サステナビリティの取り組みについて

地域		2020年度 実績 (千台)	2021年度 実績 (千台)	前期比
日本		687	645	-6.1%
中国	広州	804	818	+1.7%
	武漢	840	769	-8.6%
タイ		128	142	+11.0%
合計		2,460	2,374	-3.5%

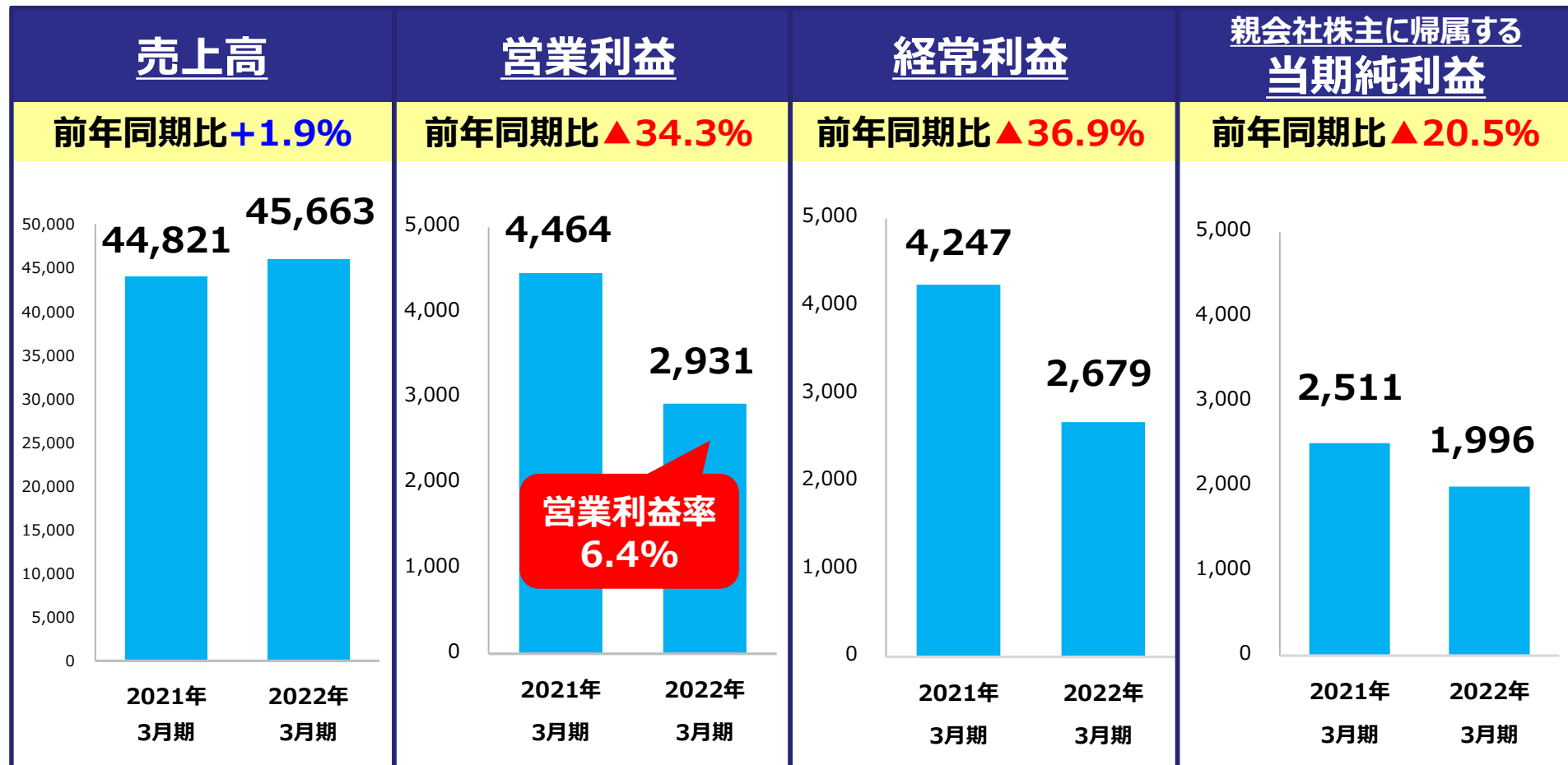
※当社関係拠点先台数を記載

2021年度は新型コロナウイルス影響は回復傾向にあるものの、日本、中国を中心とした半導体供給不足に伴う減産影響でトータルで生産台数減となる。

セグメント	HONDA	NISSAN	その他
日本	* VEZEL(欧州向け)	* SAKURA	【TOYOTA】 * COROLLA CROSS * bZ4X 【LEXUS】 * NX 【DAIHATSU】 * ATRAI(精密部品)
タイ	* CIVIC * HR-V		
広州	* INTEGRA		【TOYOTA】 * HARRIER * SIENNA
武漢	* CIVIC		

※対象期間 日本 2021年4月～2022年3月
タイ・広州・武漢 2021年1月～2021年12月

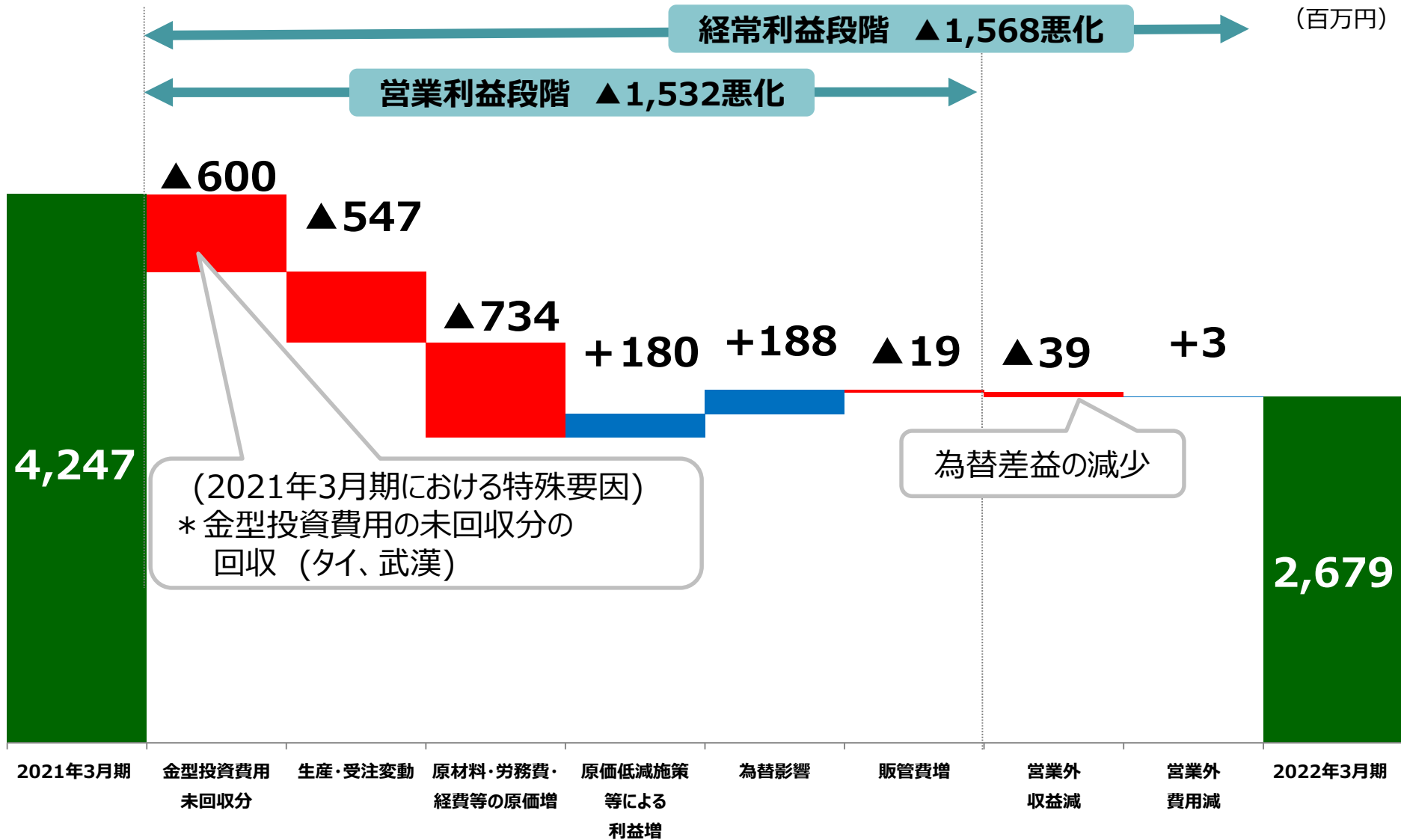
**HONDAを中心とするものの、他メーカーの受注を積極的に拡大し
全方位における受注活動強化を推進**



為替レート	2021年3月期 (円)	2022年3月期 (円)	増減 (円)	増減率 (%)
米ドル	106.17	112.86	+6.69	+6.3%
タイバーツ	3.42	3.43	+0.01	+0.3%
人民元	15.44	17.03	+1.59	+10.3%

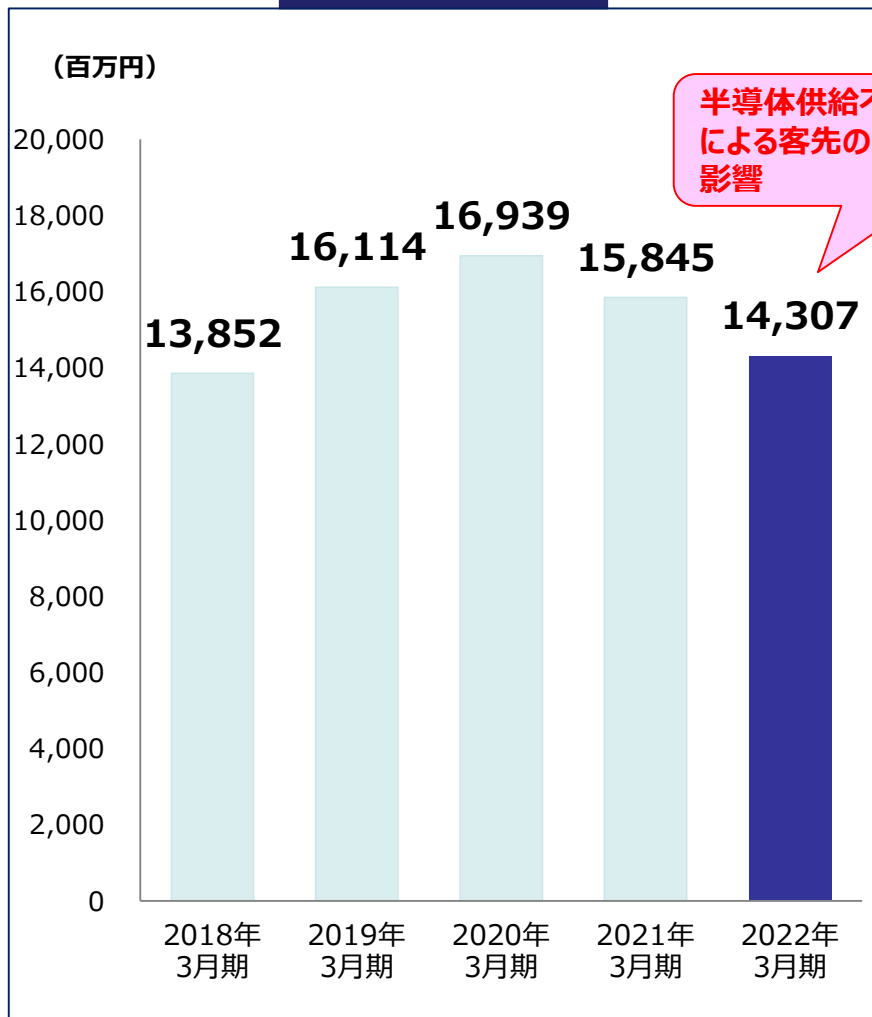
2-4.増減要因

(百万円)

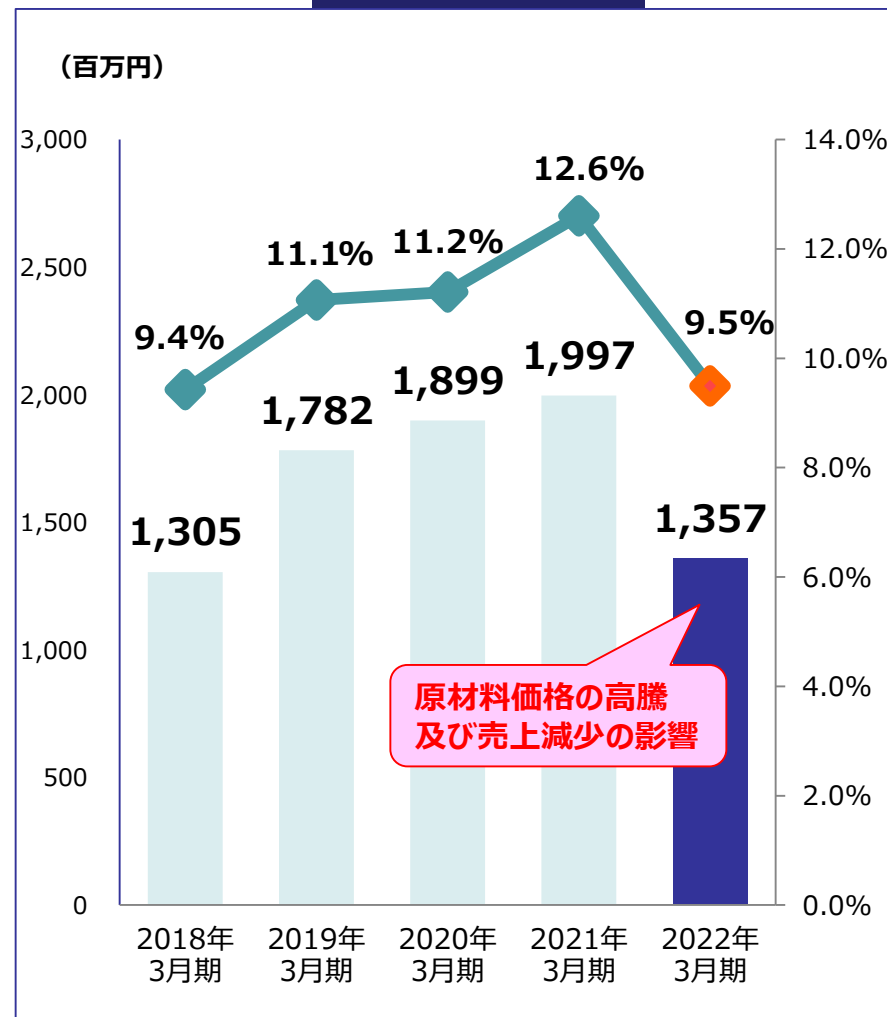


部品・金型事業の生産・受注変動及び原材料価格高騰・客先生産変動に伴う労務費負担増等の原価高の要因により減益。

売上高

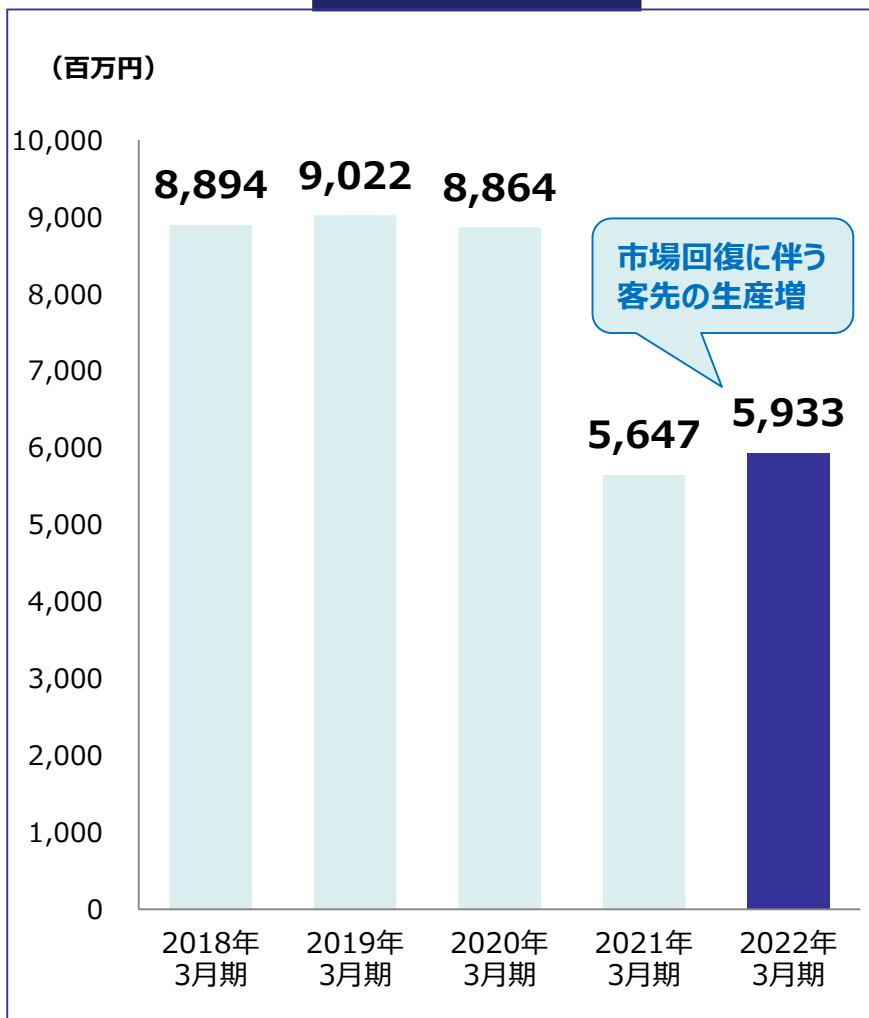


経常利益

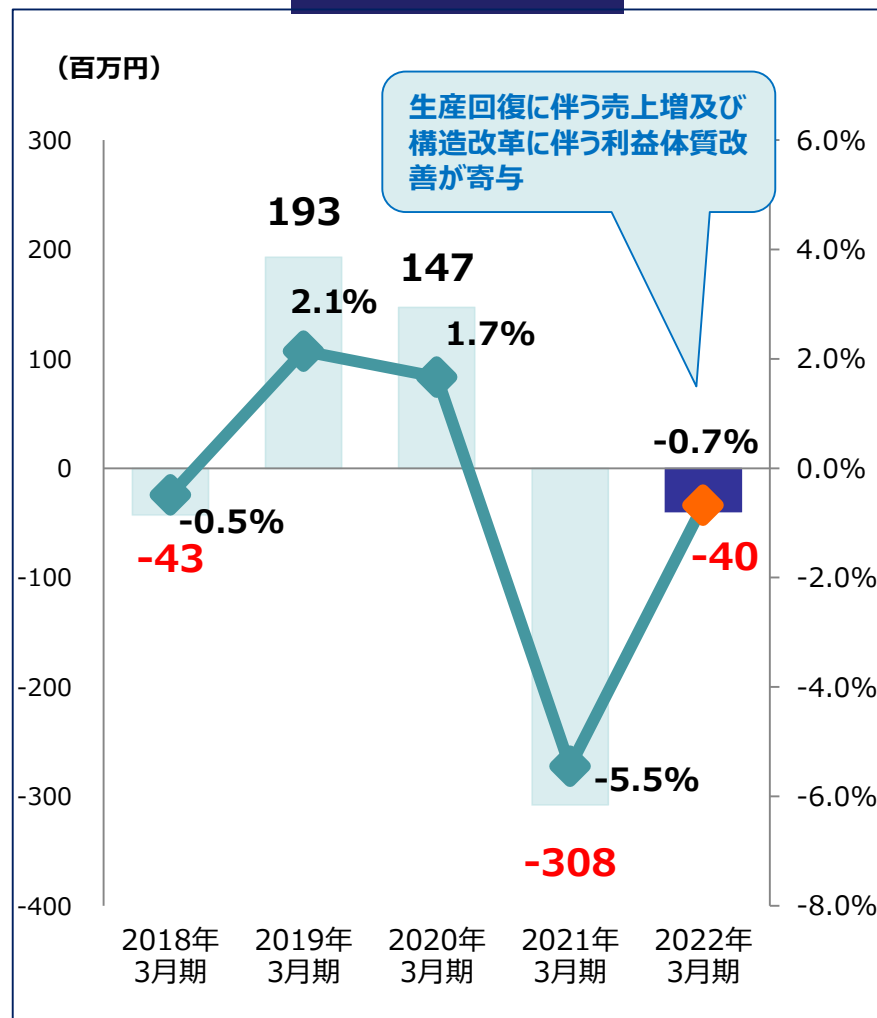


半導体供給不足による客先の減産影響及び金型設備等の販売減少等により、減収。
原材料価格高騰及び売上高減少の影響等により、減益。

売上高

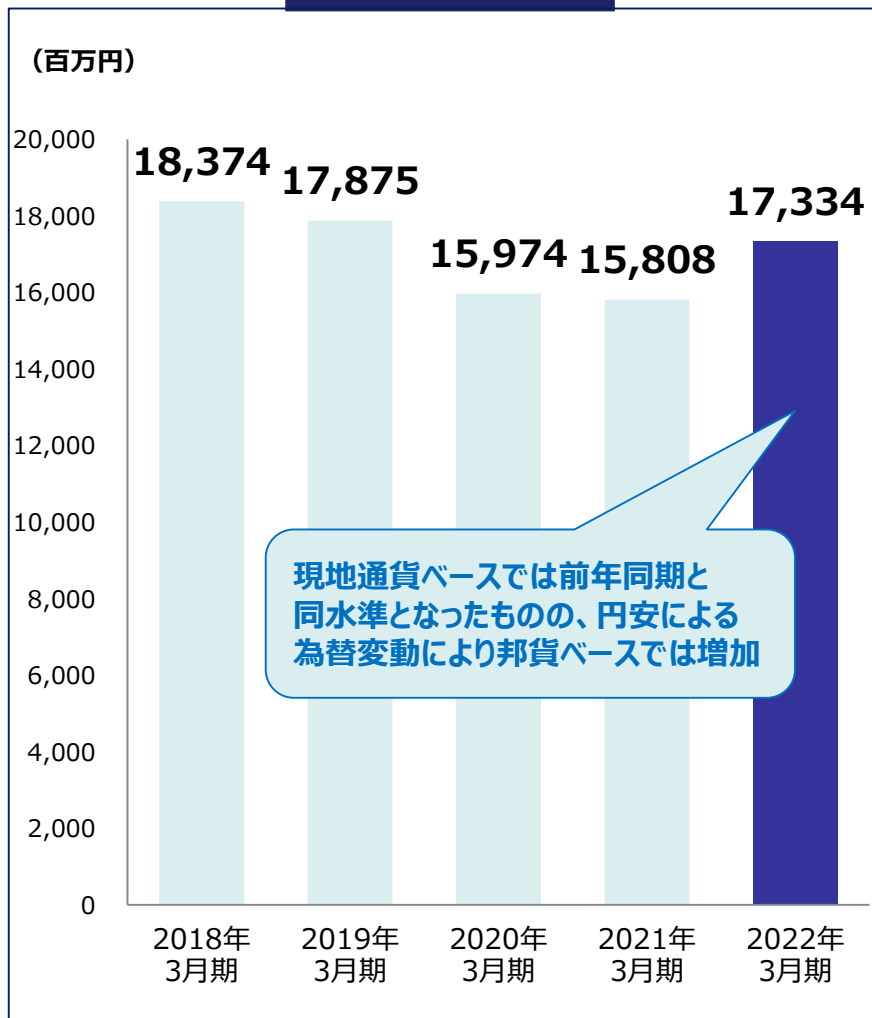


経常利益

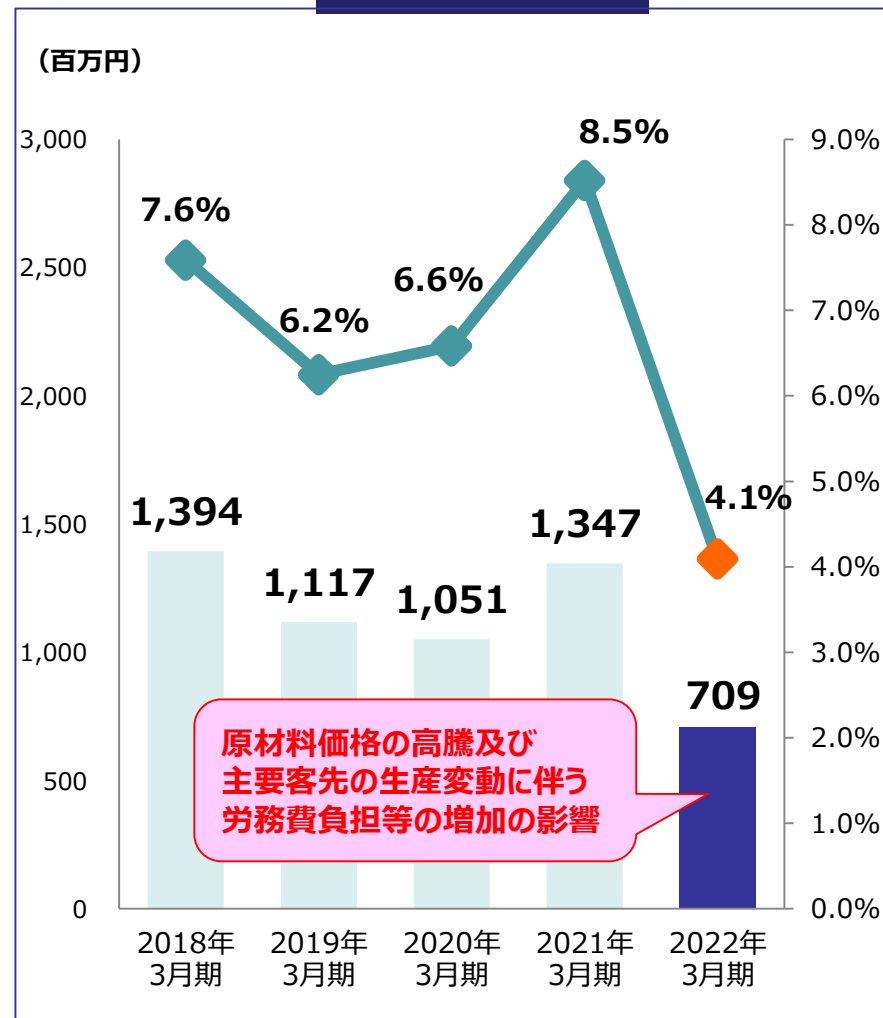


客先の国内・輸出向け自動車部品、汎用エンジン部品の生産増加等により、増収。構造改革に伴う利益体質改善の推進等により、損失減少。営業利益段階では黒字化。

売上高

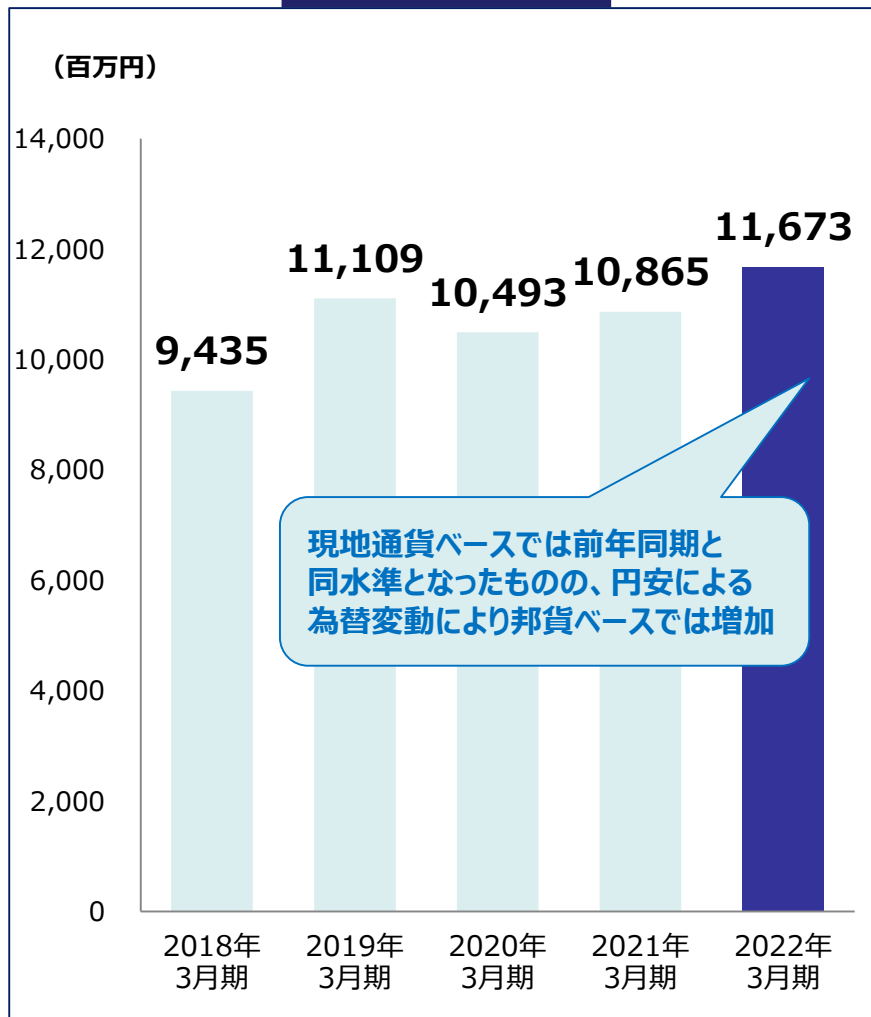


経常利益

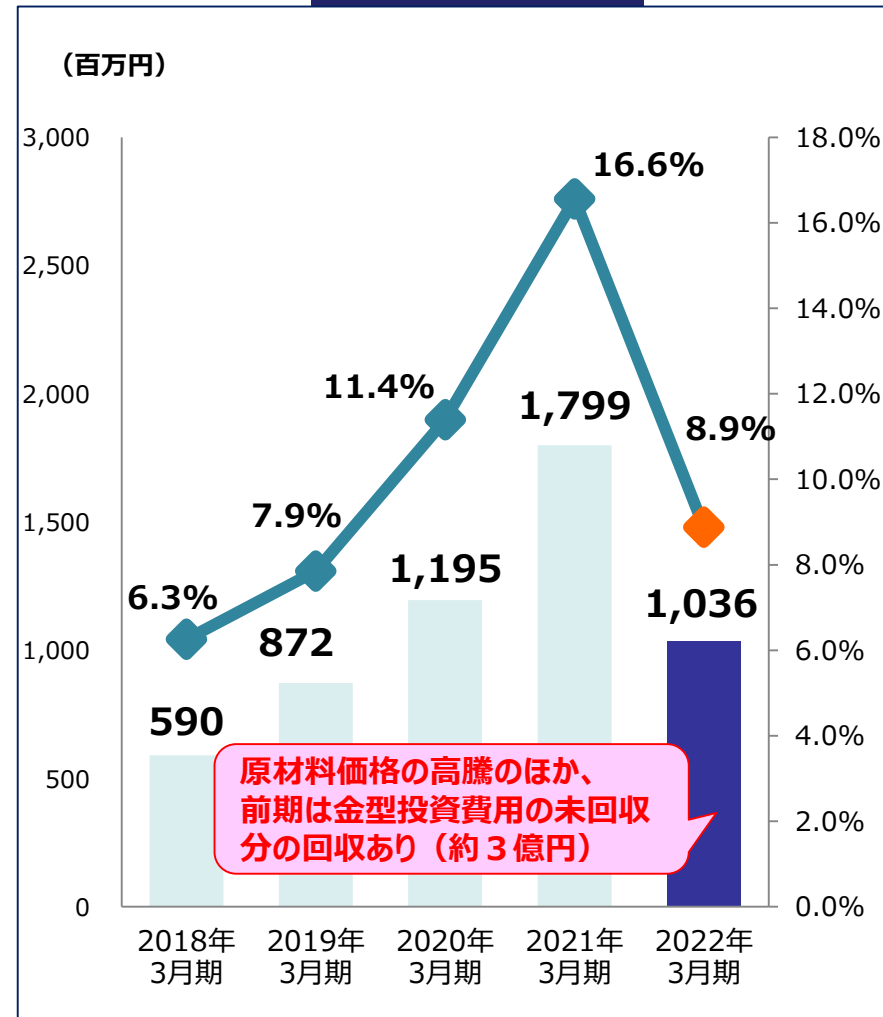


半導体供給不足による客先の減産影響により現地通貨ベースでは前期同水準となったが、円安の為替影響により邦貨ベースでは、増収。原材料価格高騰及び生産変動による労務費負担増加等の影響により、減益。

売上高



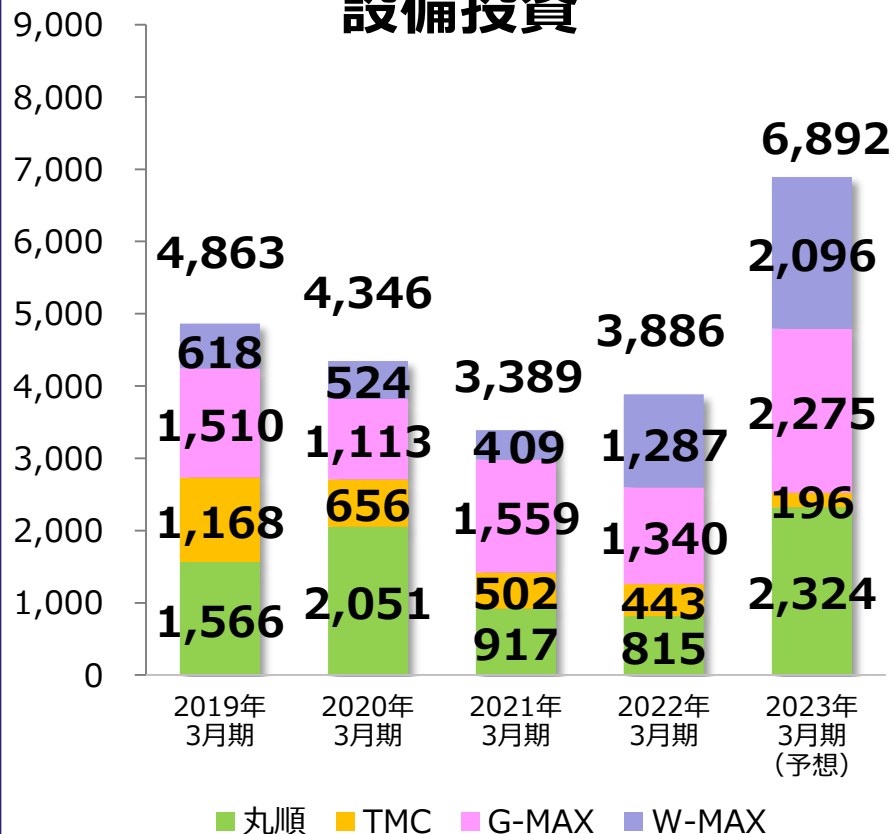
経常利益



半導体供給不足による客先の減産影響により現地通貨ベースでは前期同水準となったが、円安の為替影響により邦貨ベースでは、増収。原材料価格高騰及び生産変動による労務費負担増加等の影響、前期は金型投資費用の未回収分の回収があったことにより、減益。

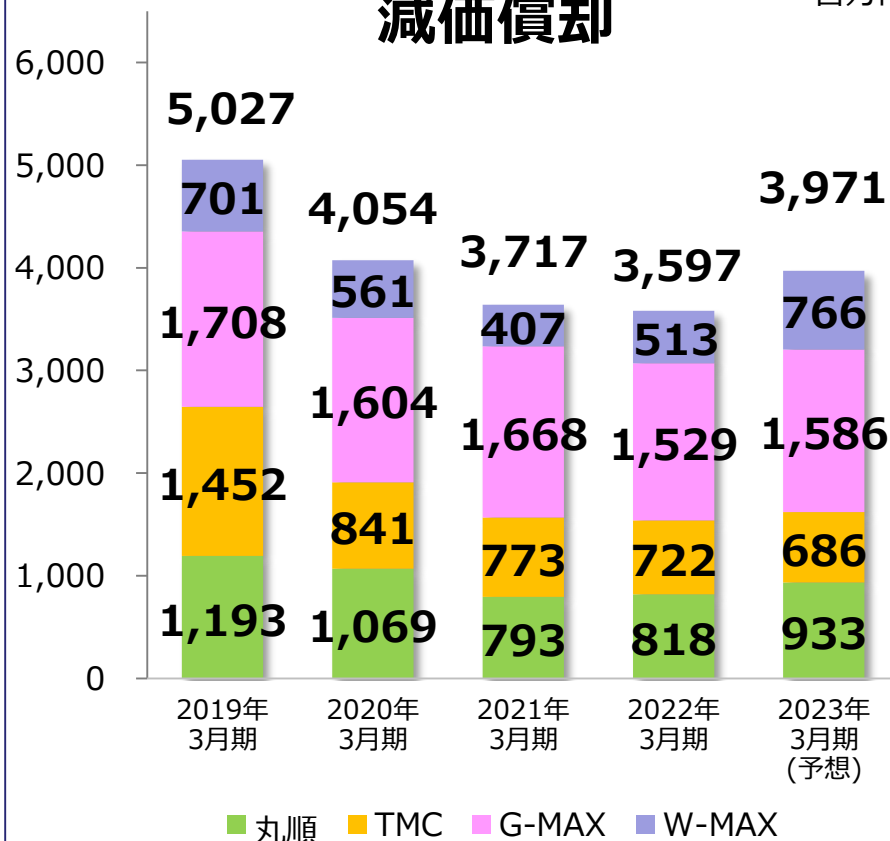
設備投資

百万円



減価償却

百万円



【2022年3月期の主な投資】

- 【日本】 基幹システム導入、レーザーブランク設備、トランスファープレス機更新
- 【タイ】 プレス機オーバーホール、新型車種金型
- 【広州】 溶接設備能力拡大、洗浄ライン能力拡大、新型車種金型
- 【武漢】 溶接設備能力拡大、新型車種金型

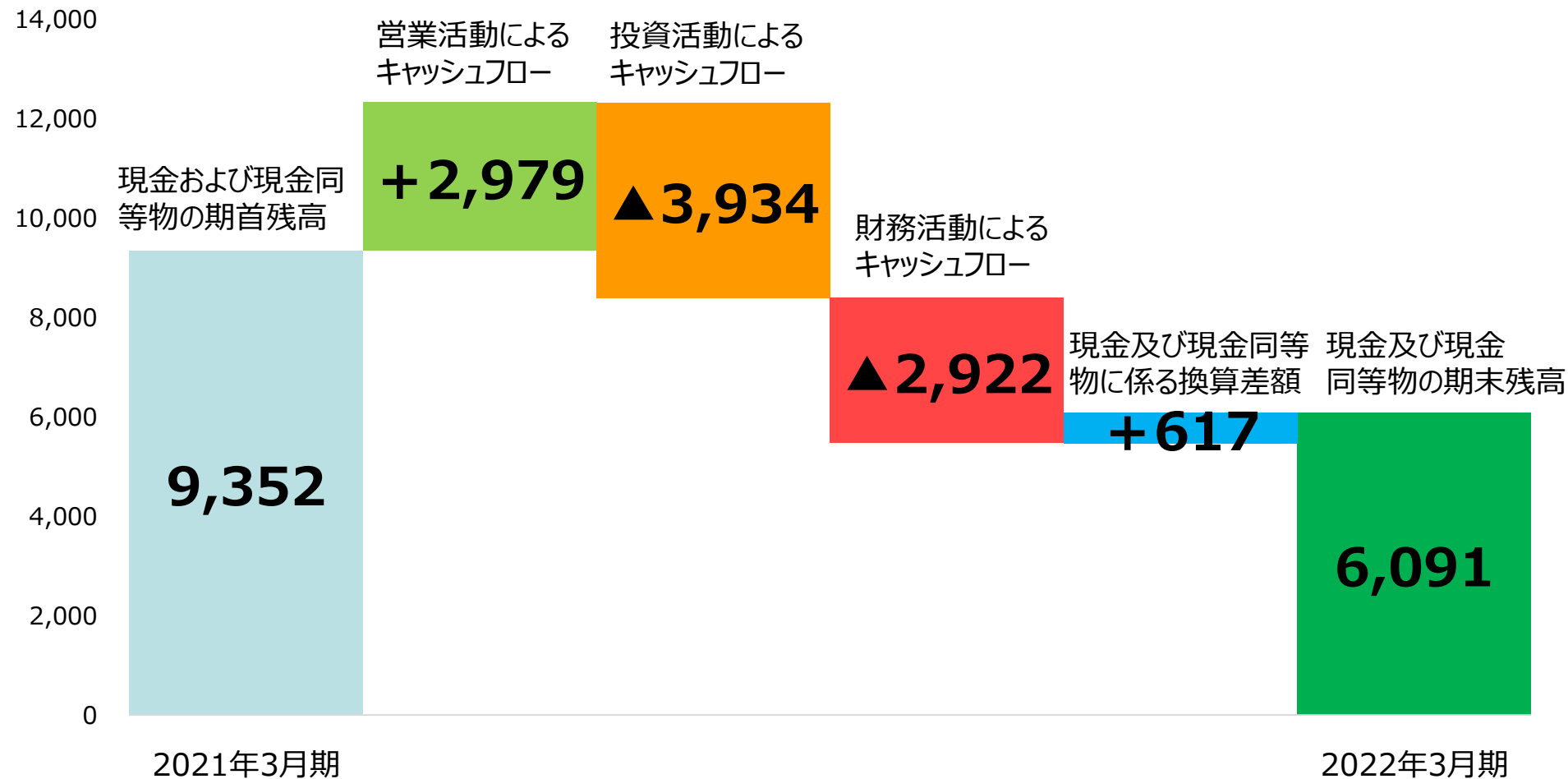
【2023年3月期の主な投資】

- 【日本】 岡山工場関連、人荷用エレベーター
- 【タイ】 トライプレス(金型)、溶接設備能力拡大
- 【広州】 能力拡大、品質向上、効率化設備
- 【武漢】 溶接設備能力拡大、新型車種金型

財務体質改善のため過度な投資は抑制しつつも、岡山工場新設等、事業拡大を狙った戦略的投資を推進。

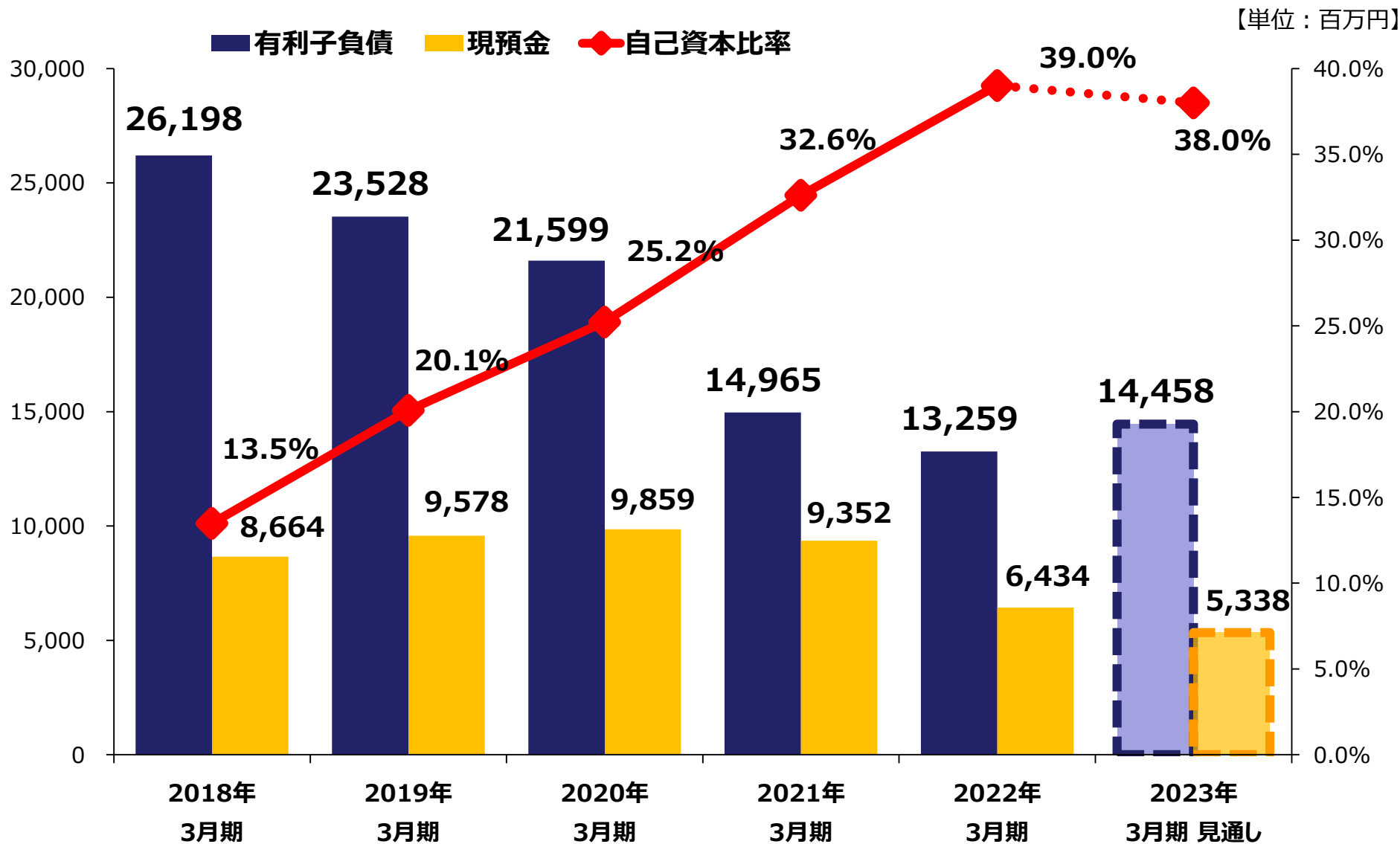
フリーキャッシュフローは▲9億円

(百万円)

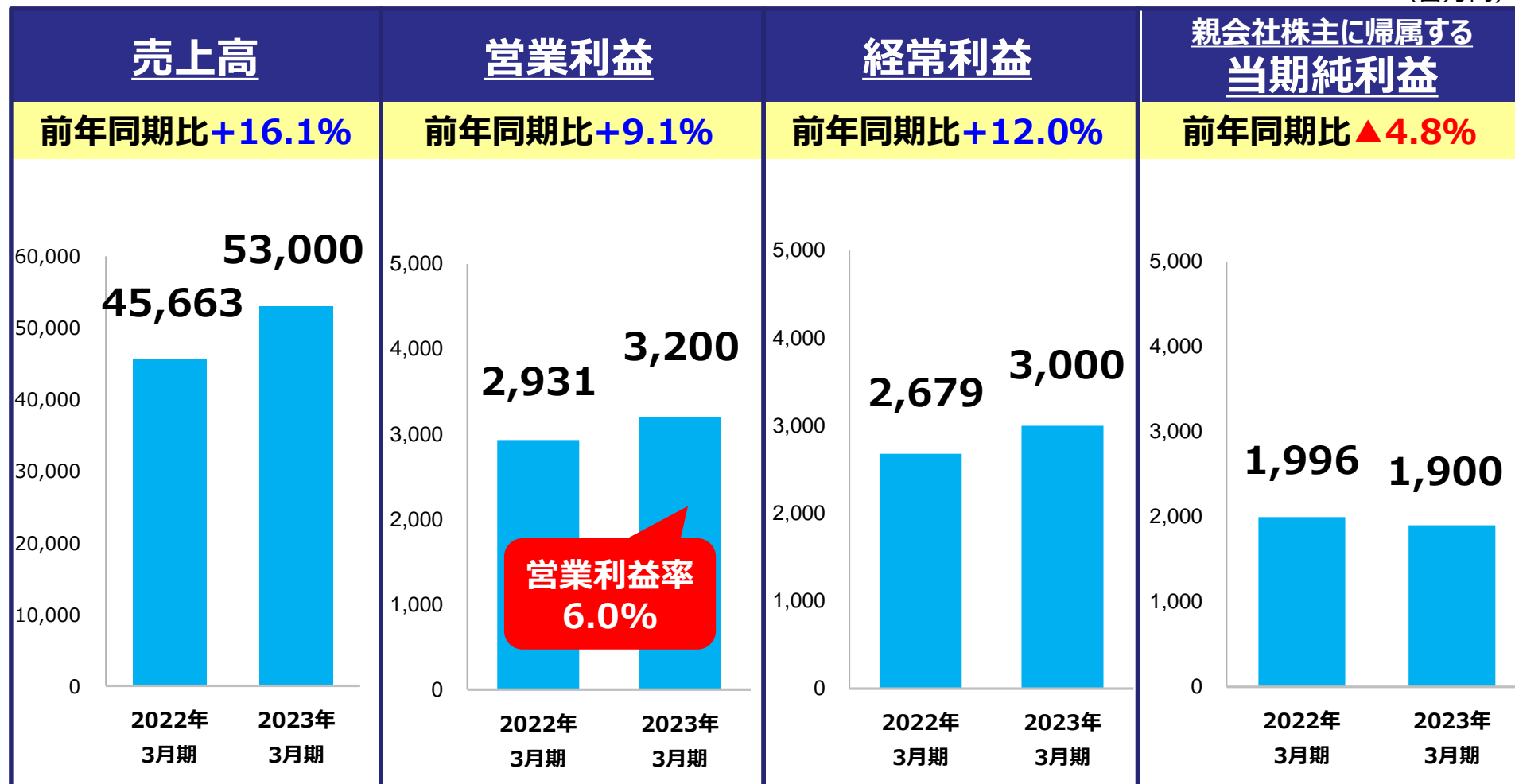


生産設備・金型の仕掛り増加及び前期から今期への投資の期ズレ等の要因により、フリーキャッシュフローはマイナス。

2-8.財務状況



自己資本増強と有利子負債圧縮により、2021年度においても自己資本比率は順調に上昇。2022年度においては、成長戦略に伴い自己資本比率は38.0%となる見通し。



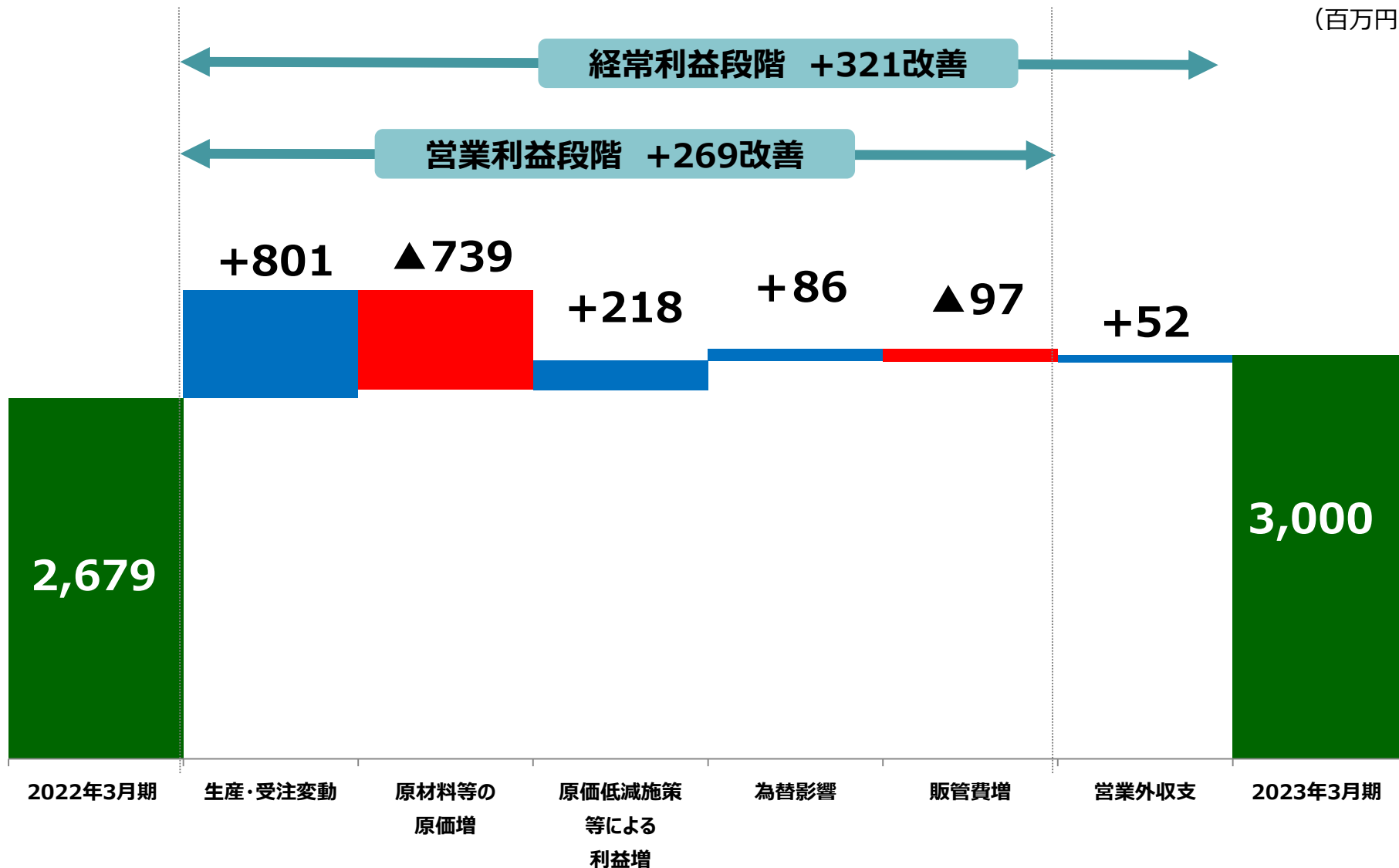
2023年 3月期 (円)

為替レート

米ドル : 120.00、タイバーツ : 3.20、人民元 : 18.00

2-10.業績予想 (増減要因)

(百万円)



原材料価格高騰の影響が継続するが、年間での増産効果や合理化施策等により吸収する見通し。

配当の考え方

現中期については連結自己資本比率40%を目標値とし、財務体質強化に注力。

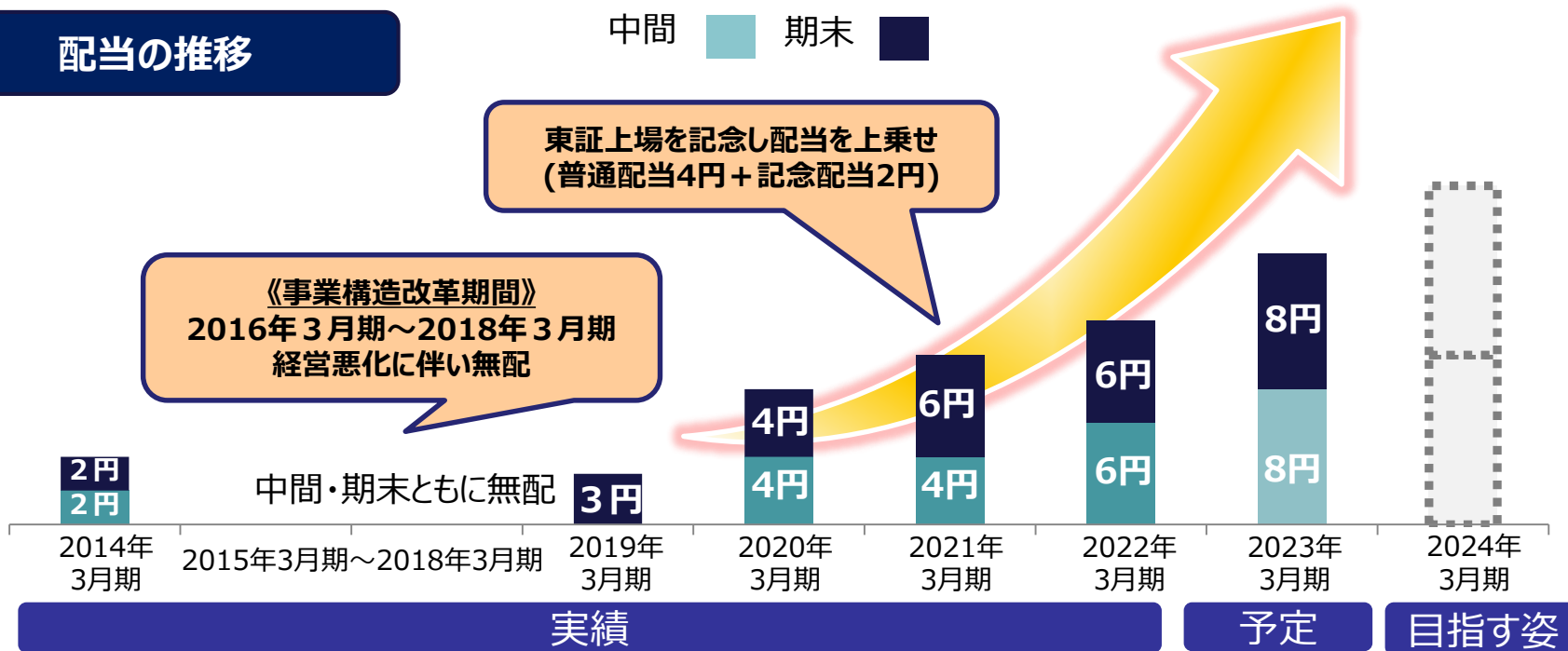
次期中期では、配当性向等の具体的な配当の目安を設定していきたい。

現中期の配当については、世界的な自動車の生産停止等の甚大な変化がない限り、少しずつでも**毎年増配していくことを基本的な考え方**としている。

2022年3月期配当につきましては、中間配当が1株につき6円、期末配当が1株につき6円で年間配当が1株につき12円としております。

配当の推移

中間 ■ 期末 ■



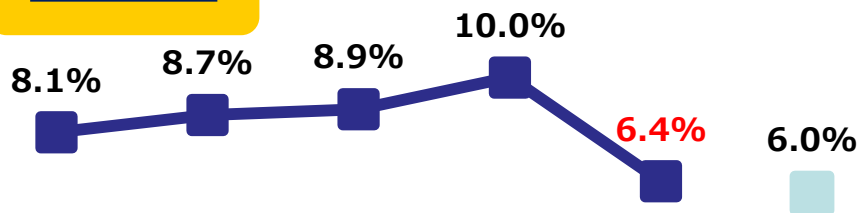
実績

予定

目指す姿

営業利益率

目標9%以上

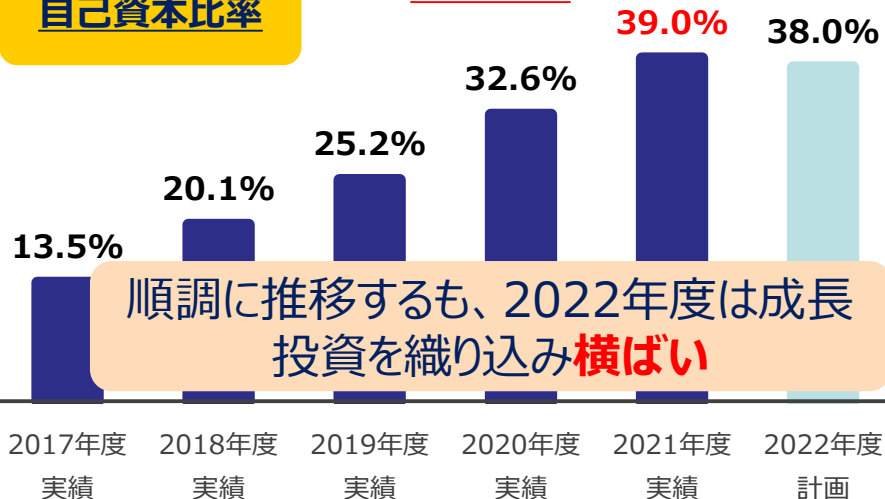


順調に上昇するも原材料価格高騰等の影響により2021年度より**低下**

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
実績	実績	実績	実績	実績	計画

自己資本比率

目標40%



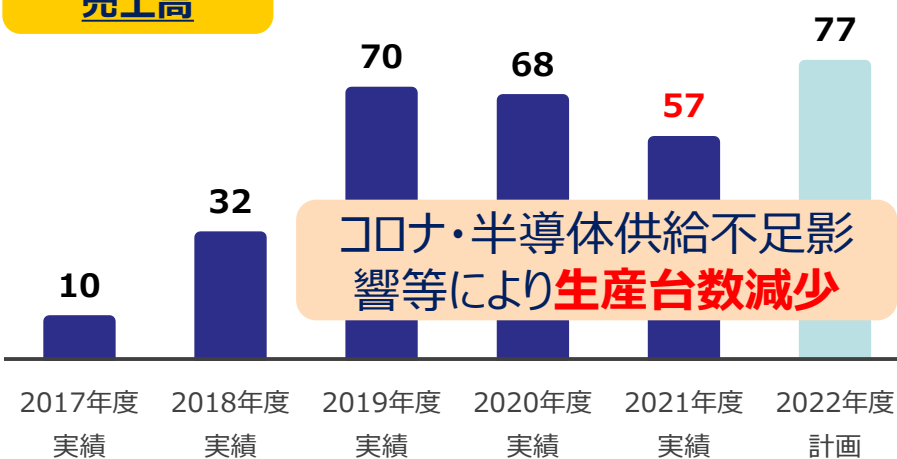
順調に推移するも、2022年度は成長投資を織り込み**横ばい**

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
実績	実績	実績	実績	実績	計画

東プレ向け売上高

(単位：億円)

目標100億円



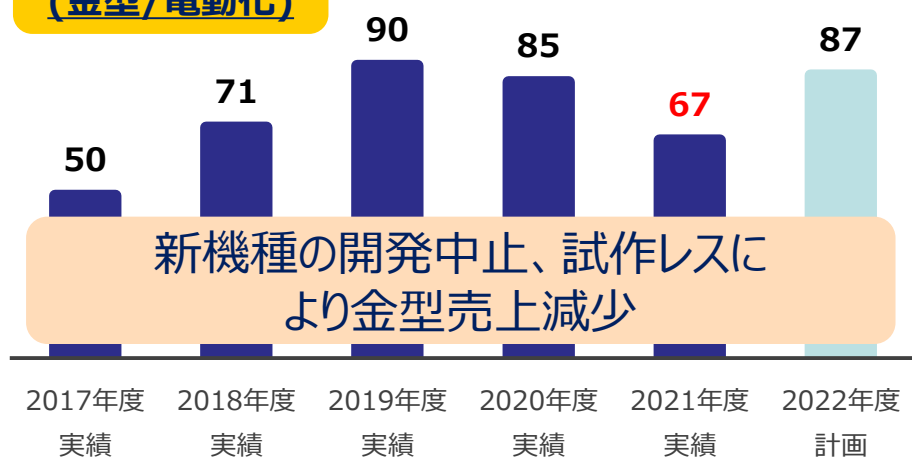
コロナ・半導体供給不足影響等により**生産台数減少**

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
実績	実績	実績	実績	実績	計画

戦略事業売上高(金型/電動化)

(単位：億円)

目標150億円



新機種の開発中止、試作レスにより金型売上減少

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
実績	実績	実績	実績	実績	計画

中長期計画目標値は未達の見込み。コロナ・半導体供給不足・原材料価格高騰等の外部環境変化はあるものの、売上高拡大には課題を残した。財務体質は一定レベルまで強化。

1. 資本政策の基本的な考え方

事業基盤拡大による収益確保を優先課題としますが、有利子負債と株主資本の最適な構成を図りながら設備増強、M&A、研究開発等の成長に向けた事業投資を実施いたします。さらに持続的な企業価値向上のための財務健全性は維持した上で、株主還元の拡充を図り、適正な資本政策を実施する方針であります。

(1) 収益性

資本効率性を考慮した上で主戦場である日本及びアジア地域での既存ビジネスを中心に、効果的に新規ビジネスの創出及びM&A等を実施し、事業基盤拡大等による収益性向上を図ります。ROE等の明確な資本効率性の水準については次期中長期経営計画（2024年3月期）の策定と併せて検討の上、お知らせいたします。

(2) 財務健全性

成長に向けた戦略投資を実施し、資金調達には営業活動によるキャッシュ・フローと適切な外部調達方法を組み合わせます。財務健全性については現中長期5ヵ年経営計画最終年度末（2023年3月末）の水準を維持いたします。

(3) 株主還元

収益性の向上により得られる資金、成長投資の機会及び財務健全性等を総合的に勘案し、株主還元の拡充を図ります。配当性向・株主資本配当率等の明確な株主還元の水準については次期中長期経営計画（2024年3月期）の策定と併せて検討の上、お知らせいたします。

2. 適用時期

2024年3月期より適用の予定ですが、本方針の内容は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。今後の様々な要因によって本方針に変更が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

【本日の報告事項】

1、会社概要、トピックス

2、2022年3月期決算及び
2023年3月期業績予想

3、成長へ向けた取り組みについて

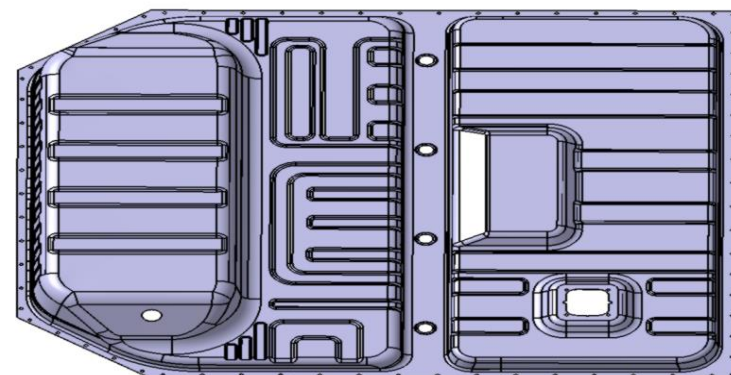
4、サステナビリティの取り組みについて

①CATL社からの継続受注

当社中国拠点の広州丸順社にて、寧徳時代
新能源科技股份有限公司（以下、CATL）
より、**2車種目となる電気自動車のバッテリー
カバーの量産部品を受注。**

広州丸順社とCATLとは、2020年に試作受注
から取引を開始しており、今回受注した部品は
2022年量産開始の部品。

CATL



【類似部品イメージ】

②成都普什汽車摸具有限公司との業務提携

広州丸順社は**成都普什汽車摸具有限公司（以下、成普汽模社）との戦略的業務
提携契約を締結。**市場拡大が続く中国自動車市場において、**金型売上及び新規顧
客拡大を図るとともに、**自動車関連メーカーやCATL等の進出が著しい**中国・四川省に
おける生産拠点確保や、競争が激化している中国・広東省における自動車部品事業の
拡大を目指す。**

業界トップシェアの世界企業より2車種目となるバッテリーカバーの受注を獲得、
次期中期を見据え、更なる電動化事業拡大に向け積極的な受注拡大に努める。

日本丸順は、2019年から三菱自動車工業株式会社水島製作所において生産されている日産自動車及び三菱自動車の軽自動車の部品を生産開始し、岡山地区の事業強化を図ってまいりましたが、**2023年度から始まる次期中長期における成長に向けて、更なる受注拡大・競争力強化を目指し、この度、岡山県に新工場を建設。**

【岡山工場 完成予想図】



新工場概要

・ロケーションを活かしたQ(品質)、C(コスト)、D(デリバリー)における**利益体質向上による競争力の向上**

・**大型トランスファープレス機**等の設備導入

・最適な物流導線や工場レイアウトによる**生産性向上や高効率化**を図る

・ESGの観点から**太陽光発電の活用**等、地球環境に最大限配慮

・**ジェンダーレスの職場環境整備**等、全てのステークホルダーに満足いただける新工場を目指す

名称	株式会社丸順 岡山工場（仮称）
所在地	岡山県浅口市
事業内容	自動車部品の製造
工場概要	敷地面積：約23,000㎡ 延床面積：約8,000㎡ 主要設備：大型トランスファープレス機 大型順送プレス機
日程	着工：2023年1月 竣工：2024年3月 生産開始：2024年5月

**2023年度から始まる次期中長期における成長に向けて
更なる受注拡大・競争力強化を目指し、岡山県浅口市に新工場を建設**

日本丸順は、2021年度にトヨタ自動車株式会社から発売された、**LEXUS NX、カローラクロス**及び2022年5月よりリース販売が開始された**bZ4Xの3車種**の部品を受注し量産を開始。

当該部品はボディ骨格部品や機能部品の構成品となるプレス部品



トヨタ自動車 LEXUS NX



トヨタ自動車 カローラクロス



トヨタ自動車 bZ4X

超ハイテン加工技術の深化
大型プレス機を活かした高品質且つ低コストな生産体制

トヨタ系
超ハイテン部品受注決定

また、ハイブリッド車や電気自動車のボディ部品において、高張力鋼板（スーパーハイテン材）が採用されたことにより、**車体の軽量化につながり、燃費性能が向上するなど、事業活動を通じたCO2排出量削減による地球環境への貢献にも努める。**

当社固有のスーパーハイテン加工技術を活かし、
更なるホンダ向け以外の受注拡大を目指す。

①ロータス2車種目 受注

当社中国拠点の武漢丸順社にて、**吉利汽車/ロータス共同開発車のアルミ骨格部品を受注。**

当該部品は、前回の受注に続き、**2車種目の部品受注**となり、当社のアルミプレス技術を活用し、軽量化ニーズに対応していく。

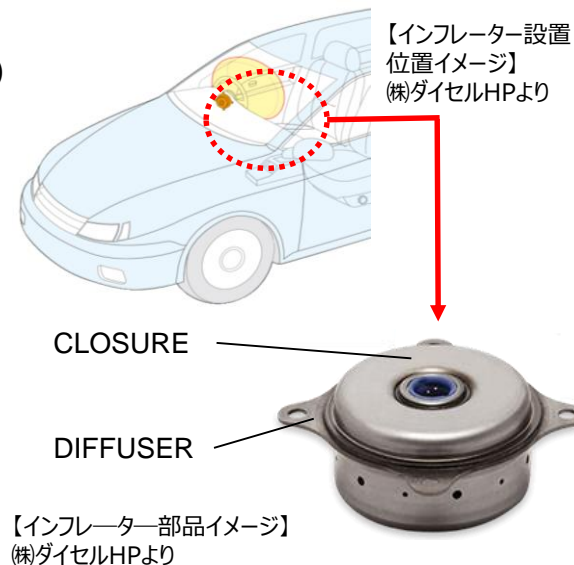


丸順グループとして初の本格的なアルミ骨格部品の受注獲得に伴い、設備投資を実施

②ダイセルタイ 受注 (Daicel Safety Systems (Thailand) CO.,) Ltd)

当社タイ拠点のタイ丸順社にて、株式会社ダイセルのタイ子会社より自動車のエアバックの始動装置であるインフレーターを構成する部品 (CLOSUREとDIFFUSER) を受注。

当該部品はその大半がインド向けであり、インドのエアバッグに関する安全規制の強化及び、ダイセル社製品の自動車メーカーにおける適用拡大に伴い生産台数の拡大が見込まれる。



海外拠点においても積極的な営業活動により、順調に新規取引先の継続受注を獲得。

【本日の報告事項】

1、会社概要、トピックス

2、2022年3月期決算及び
2023年3月期業績予想

3、成長へ向けた取り組みについて

4、サステナビリティの取り組みについて

持続可能な社会の実現と当社グループの持続的な企業価値の向上のためサステナビリティ方針を策定いたしました。

丸順グループ° サステナビリティ方針

丸順グループは「技術を磨き、お客様が望む優れた製品・部品を提供することで『従業員』『お客様』『地域社会』の満足と幸せを追求します」という企業理念を基本とし、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めます。

【環境】

- 事業活動の推進とモノづくりにおける技術の進化を通じ、脱炭素社会の実現と地球環境の負荷軽減に貢献します。

【社会】

- 従業員の多様な個性・価値観を尊重し、一人ひとりの能力を最大化できる環境と、健康で安全に働くことができ仕事と生活を両立できる健全な職場の形成に努めます。

【ガバナンス】

- 法令・社会規範を遵守し、公正で透明な企業経営を推進すると共に、企業情報の適切な開示と対話を通じ、ステークホルダーとの信頼関係の構築に努めます。

E/S/G	重要課題（マテリアリティ）	K P I	関連するSDGs
E	CO2排出量の削減	CO2排出量削減率	 
E	廃棄物の削減 資源の有効活用	廃棄物排出量の削減率 仕損費比率の削減率	 
S	当社技術を活用した技術革新	電動化関係部品売上拡大 スーパーハイテン用金型売上拡大	
S	ダイバーシティ	女性管理職者数 外国人社員比率 障害者雇用率	 
S	人材教育・育成	プロフェッショナル人材管理職（専門職昇格者）	
S	働き方改革	過重労働者率 ワークライフバランス推進・エクセレント企業認証	  
S	労働安全衛生	健康経営優良法人認定 休業災害件数	
S	地域経済への貢献	地域活性化事業の展開	
G	コーポレートガバナンスの強化	コーポレートガバナンス・コード遵守率	  

サステナビリティ推進室の新設

サステナビリティ重要課題の取り組み推進を強化するため4月よりサステナビリティ推進室を新たに設置いたしました。

E・S・G各項目における重要課題の取り組みをより強力に推進し、持続可能な社会の実現と当社グループの持続的な企業価値の向上に取り組んでおります。

産学連携の取り組み

次世代を担う人材育成の一環として岐阜大学学生を対象に、11～1月にかけてモノづくりに関する授業を実施いたしました。生産活動における課題演習を通じモノづくりの理解と興味を深めるとともに、当社と岐阜大学の産学連携におけるパートナーシップ深化を図りました。



汎用マテハン装置の企画・提案

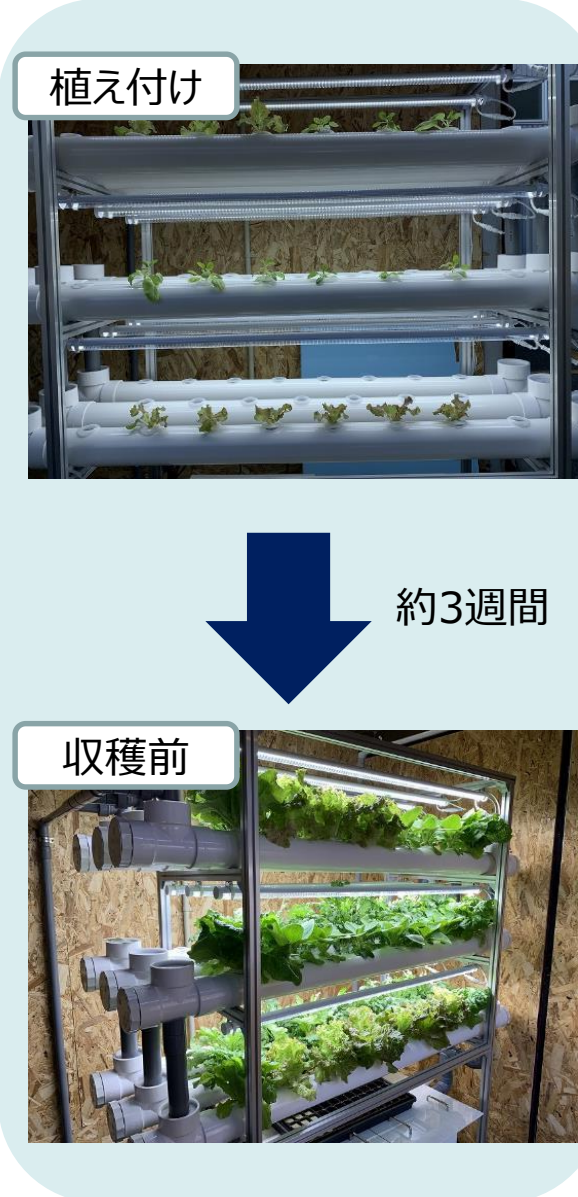
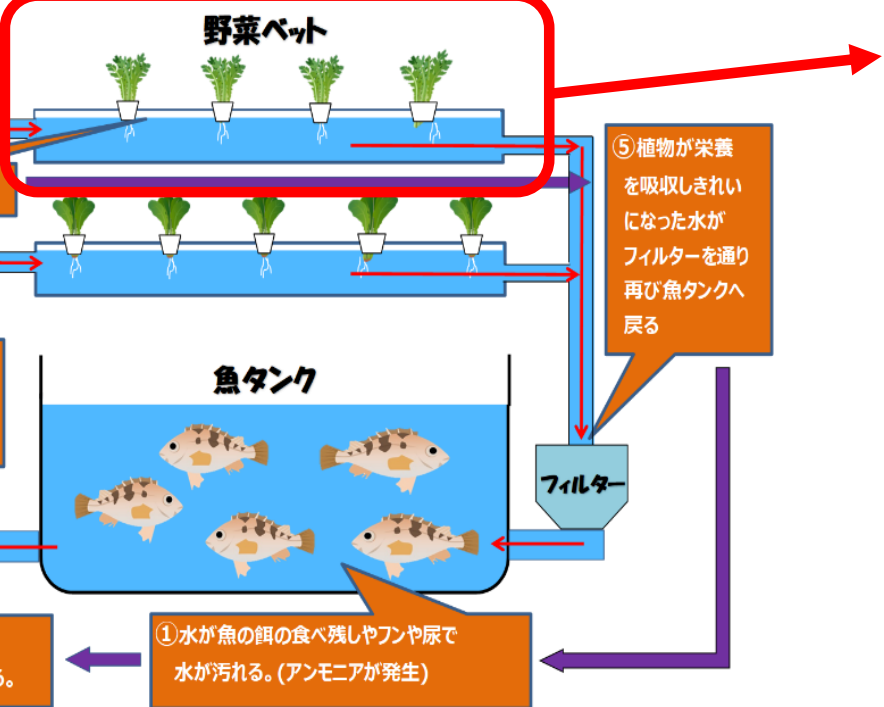
課題	解決策
人による作業中心の生産ラインでは、製作製品の品質・製作時間にはばらつきが生じてしまう。そこで、標準での作業に置き換えてばらつきを削減し、生産の安定化・高効率化を図りたい。 ↓ どのような形状の部品でも保持・運搬できる汎用のマテリアルハンドリング(マテハン)を企画・提案する。	①種類の部品について、作業台にあるそれぞれを数取りし、次の箱に運ぶ(このまでの動作が可能なマテハンを考案する) ②種類の部品
ロボット×バキュームハンド(1班)	
部品構成 モーター 径の小さいバキューム 金具 エアシリンダー	改善点 腕の長さの分モーメントが増大 変換しによる握持の失敗
動作 モーターによる独立した腕の回転 ラックアンドピニオンによる腕の長さ調整 エアシリンダーによる握持動作 サーボモーターによる細かい角度調整	点検 ①バキュームの場合 ②腕の長さ調整
まとめ バキュームの位置や角度を調整し様々な形状の握持に対応が可能 アクチュエータを用いずポルトで固定することで、コスト削減と耐久力の向上が可能	
ところんハンド(2班)	
部品構成 棒 棒状の本体 本体後ろカバー	改善点 握持全体の重量 部品が浮いていないと握めない 部品とハンドの接触による傷
動作 1. 上記のような形状のマテハン2つを棒品の両側から探り込むように配置する 2. 平行移動させて部品をつかむと、その形状に合わせて接触部分が変形する 3. 部品を保持したまま次の台まで移動させる	改善点 穴をあける。奥側を用いる 部品を一つずつつかず仕込み 握可能な握持カバー
まとめ ①. 上記のような形状のマテハン2つを棒品の両側から探り込むように配置する ②. 平行移動させて部品をつかむと、その形状に合わせて接触部分が変形する ③. 部品を保持したまま次の台まで移動させる	
はさみハンド(3班)	
部品構成 ・モーター ・歯車 ・円形レール ・アーム ・金具	改善点 握むだけでは過大なトルクが必要 平らな部品をつかみにくい
動作 ・握前の交差角度を広げて部品にアームを近づける ・握前の交差角度を狭めて部品を握む ・握前に応じて1本のアームを移動させて握持力を向上させて持ち上げる	改善点 アームにツバを追加して近づけることで必要なトルクを軽減 円柱型の道具を配置して平らな部品でもつかいやすくなる
まとめ ③種類のマテハンを考案し、それぞれの部品構成や動作手順、改善点を考案した。これらの特徴を考慮し、より良いマテハンを考案した。	

アクアポニクス

環境に配慮した新たな施策として、循環型農業であるアクアポニクスの実証実験をスタートしました。将来的には少子高齢化に伴い廃校となった校舎を運用の場とし、地域社会の貢献に努めていくことを検討しております。



水耕栽培と魚の養殖を掛け合わせた次世代の環境保全型農業	
野菜の栽培 ・農薬、化学肥料、除草剤を使わない ・土づくり、水やり、除草が不要、連作障害なし	魚の養殖 ・抗生物質、成長ホルモンを使わない ・水換え不要(水が浄化される)



約3週間

ご清聴ありがとうございました



当社ウェブサイトにてIR情報をご提供させていただきます



<https://www.marujun.co.jp/>

この資料は、株式会社丸順（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、将来に関する記述については、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの内容とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。